

1 開催日時

平成27年1月9日（金）午後3時45分から

2 開催場所

会議棟第1会議室

3 出席者

委員：鈴木委員長 武石委員 岩田委員 藤宮委員 真如教育長  
事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 小俣社会教育部長  
小坂橋統括指導主事 岩本学校教育課長 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 第二・四小学校における学童クラブ待機児童の受け入れについて
- (2) 平成26年度東京都学力・学習状況調査の結果について
- (3) その他
  - ・教育長会研修会について

5 会議の要旨

- (1) 第二・四小学校における学童クラブ待機児童の受け入れについて

①主な説明

- ・市長部局から、教育委員会に対し第二小・第四小学校における学童クラブ待機児童の受け入れについてのお願いがあった。その背景としては、児童福祉法が改正され、放課後児童健全育成事業の対象児童が平成27年度から全学年に拡大されることとなったことに伴い、来年度の学童保育所利用の意向調査を実施した結果、待機児童が生じる見込みとなったことである。については、第二・第四小学校に対し、第二・第四小学校一教室を使用した待機児童受け入れ事業（ランドセル来館事業と同様の事業）を実施したいとのことである。
- ・第二・第四小学校一教室の使用について教育委員会としてどのように受け入れるかについて考える。第二小学校については、平成26年度から既に実施しており、第四小学校については、初めての事業となる。

②主な内容

- ・第二小学校ではすでに実施している。学校側の話では、穏やかに順調に事業は進み、安全面を含め特に問題はないとのことである。
- ・この事業についての今後の見通しはどうなっているのか。
- ・法の改正に伴い平成27年度の学童保育者の対象児童が全学年に拡大されるので、今後も学校施設を活用していくことになると思われる。
- ・第二・第四小学校一教室での待機児童受け入れについては、教育委員会として協力することとし、第二・第四小学校を全面的にフォローしていくこととする。

## (2) 平成26年度東京都学力・学習状況調査の結果について

### ①主な説明

- ・対象は、小学校5年生及び中学校2年生である。
- ・平成26年度の東京都学力・学習状況調査は、7月3日(木)に実施済である。
- ・都が作成したベーシックドリルを活用して学習の基礎基本を身に付けさせている。
- ・平成23年度に小学校5年生だった児童が平成26年度に中学校2年生となった時の学力状況の変化についてまとめた。

### ②主な内

- ・中学校がかなり実績を上げている理由としては、小学校では夏休みの補習、放課後補充学習や家庭学習に力を入れている学校があること、また中学校へ進むために積み上げてきたものや努力の結果であると考えている。
- ・小学校5年生、中学2年の指導が充実してきている。小学校1年生から4年生には、特別な支援が必要な子どもも多く、学級が安定せずに学習が充実できない状況にあるため5年生の時は伸び悩んでいると考えられる。
- ・小中一貫教育については、中学校グループとして、該当校の校長先生が集まって協議を重ね、9年間で育てたい子どもの姿を共有して推進している。
- ・学校だけでは学力の向上は、図れない。地域や家庭を巻き込むことが大切である。

## (3) その他

- ・教育長会研修会について

### ①主な説明

- ・平成27年度は、東大和市が東京都市教育長会の会長市となることに伴い教育長会研修会(兼教育次長(部長)会研修会)を開催するので、その時の講師候補についての意見を求めた。

- ・平成27年度予算の編成方針について

### ①主な説明

- ・市のホームページに、基本方針、予算編成における優先施策(主なもの)や予算見積額などが掲載されている旨を説明した。